



自転車も
やっぱり
一列左がわ

東由利村報

No. 170 1971・9・1

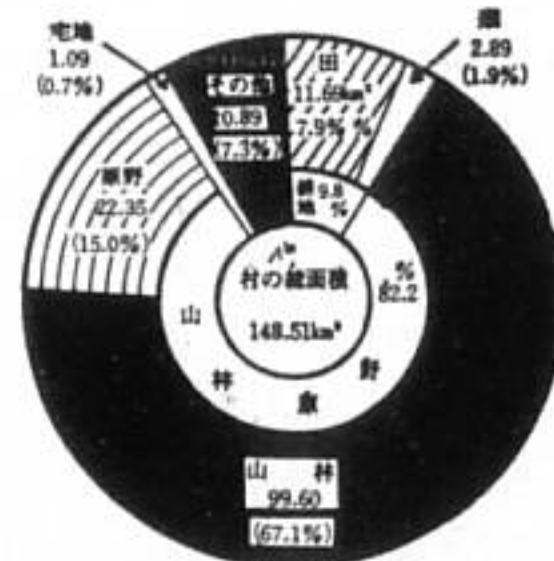
発行 秋田県東由利村役場 印刷 KK本間印刷所
毎月1日発行（1部8円）昭和42年7月21日第三種郵便物認可

世帯と人口

世帯数 1,569世帯
人口 7,137人
男 3,503人
女 3,634人
前月に比し世帯は同数
人口は6の減

財政

一般会計 434,731千円
特別会計 230,342千円
国保 93,370千円
内訳 黒診 927千円
簡水 125,632千円
玉財 10,413千円



一五二人が参加 新成人の門出祝う



元氣いっぱい成人の誓いを述べる小松秀穂君

社会が激しい変動を続ける今日、ここに新しく大人の一人として、出発することになりましたが、その多難な前途にとまどうばかりですが、それだけに意義の深さを感じます。八月六日佐藤首相が出席して、広島原爆慰霊祭、平和祈念式が行なわれました。戦後に生まれ育った私たちは、実感としての戦争は理解できません。しかし戦争の悲惨さ、復興時代の生活苦、そうしたことは、両親や先生先輩の方から容易に想像できます。その戦争から

一人一人がいま何を

成人の誓い 小松 秀穂

四半世紀たった今日、日本は世界の先進国として歩んでおります。敗戦からわずか二十六年で、国民総生産が、自由世界で第二位という日本の経済。しかしこうした高い経済成長のかけに私たちが日本人は、何かを忘れていたように思います。エコノミックアニマル。公害。教育の偏向。これらは戦後日本の、何を象徴し

きた結果にほかなりません。こうした社会的な偏向の是正が、先進国日本の、今後の最大の課題であり、それを解決するのは、私たち青年の双肩にかかっています。一方、政治面では返還を来年にひかえた沖縄の諸問

式では、村長の式辞に続いて、協議長、選挙管理委員長、教育委員長らが祝辞を述べ、新成人者を代表して、小松秀穂君（黒沢）が力強い誓いの言葉を述べた。また本村を舞台にした「過疎と教育」の研究のため、数度来村している、秋田大学の

村民すべての意欲の結果と、同時にこれを継承し発展させるための、私たちの役割の重大さを痛感します。一九七〇年代は、あらゆる面で新陳代謝の時代とよくいわれます。村もそうした流れの中で、大きく変化するだろうと想像できます。激動する世相の中で私たちは、新しい村づくりに精いっぱい努力をする覚悟であります。村民皆さま方の経験豊富なご指導をお願いいたします。大人としての自覚と責任のためにも、あらゆる青年活動を通して、同世代の若者の連帯の輪をひろげ、一人一人が今なすべきことは何かという自己の課題に向つてまい進したい覚悟であります。

減反にチャレンジ

③

二・三畝の水田のうち、自家消費米を生産する三〇畝を残し、あと全部に牧草を植えた人がいる。その人は、法内十二ノ前の遠藤治郎助さん（四九）。そして遠藤さんに、その決心をさせたのは、長男の治平君（二二）の「やる気」であった。「農業に魅力がないからじゃないですか」リーマンにまさる、経営計画がないからじゃないですか」ある一日、若林放牧場ががんばっている治平君を訪れ農業には、若い人が意欲をもっていないのではないかと、問いかけると、さもない議論をうけ、そして、落ちついた口調で、彼がいま取り組んでいる「農業」を語るのであった

働らかなければ

サラリーマンなみはダメ

機械化には素地

名芸よりバランスに力

五年計画で、五年後には、普通、サラリーマンよりも、のメリーランド洲の、牛をつくって売る牧場で実習して来



いま着々進行中である。【写真】春に導入した、ジャージーから生まれた肉牛ヘレホードとの雑種（成牛時の大きさは和牛ていど）おそらくは脱さくのとときの子でしようと、日本では珍しい品種の世話をする治平君。

農業に魅力つくる鍵

サラリーマン 所得計画を

うのある計画を立ててみました。もちろん、サラリーマンなみの労働ではだめです。早朝から、夜おそくまで働きます。サラリーマンの所得水準にくらべ、悪くなるような計画なら、だれだって魅力を感じなくなるでしょう。

ホルスタインの搾乳牛三〇頭で年産五、〇〇〇の牛乳を売ろうというんです。いま乳牛は一六頭、うち搾乳牛は一〇頭です。

上、山振調査団が来村

除雪費に補助を

一村長が要望

国の山振調査団に

本村は昨年に、国から振興山村地域として指定を受けており、本年度から四年間で事業が実施されるが、すでに法内、宿などの開場整備事業のようにスタートしている。

七月三十日、経済企画庁、建設省、文部省の本省係官三人が、山村振興指定町村の実地調査のため来村した。調査団に対し小松村長は、①夏の来村では、豪雪に悩む村の姿は見せられないが、車の通行可能な除雪を望む住民

の、村内在住の七七二人、外就職の七五二人の計一五二二人であった。式がはじまる午前九時を待ちあきれず、続々と詰めかけた成人者たちは、かつて机を並べた、なつかしい顔から顔を、しばしにぎやかな近況交換に花を咲かせた。

交通事故の心配。小学生は寄宿舎には適当でないなど、過疎地帯特有の悩みを負っている。これにこたえるため、通学用の大型乗用自動車の購入には、校舎建設と同等の補助を導入してほしい。③国では除雪センターの購置があると聞くが、たとえば本村は、山利郡に属しているため、海岸部という印象をもたれている。しかし、雄勝、平鹿両郡と境界を分つ、出羽山地の真っ直中にあり、湯沢地方、横手地

由利学生東京寮で欠員一人を募集中
由利学生東京寮では入寮者一人を募集中。希望の方は由利郡町村会事務局に連絡のこと。

治平君のこと

中学校卒業後すぐ、山梨県高根町にある、清里農業学校に入学、酪農の知識と技術を2年間勉強した。

清里農業学校は、昭和23年、アメリカ人ポール・ラッシュ氏（農博）により創立されたもので、戦後日本の青年のための総合的農業センター（教会・図書館・保育園・病院・実験場・ユースキャンプ青年訓練の、清泉寮・農業学校など）の一

必要ない市場認識
無視できない外国農業

格別な兼業農家

近くにその場があるから

なんでもかでも、スケールの大きな外国の農業をふりかざしたように、誤解されるかも知れませんが、経営面積が小さいながらも、立派に農業をやっている例は、世界でも日本以外にはないのではない

方とこえる豪雪地帯である。除雪センターの設置には、特別の配慮がほしいものである。④本村では、一般の住民が会合できる場所は、この一室（役場会議室を指しながら）しかない。村民が一堂に会し心を通わせ、また過疎化や村づくりに立ちむかう勇気を呼びおこし合う場がほしい。など住民の生活実態の例を引用しながら説明を行なった。

農業期には戸じまりを

由利学生東京寮で欠員一人を募集中
由利学生東京寮では入寮者一人を募集中。希望の方は由利郡町村会事務局に連絡のこと。

青少年育成夏の陣

三つの集い有意義に



かがり火を囲む輪に次代のエネルギーが

本村青少年問題協議会夏の陣...ともいうべき三つの集い

学校で、村内七つの小学校から、一〇六人が参加して「夏休み中の子ども会運営で、遊びに勉強に、多数の中の自己を自覚させ、規律のある生活リズム」をめざしたプログラムで展開、地域差をこえた友だちの輪を広げるに充分であった。

八月三日、四日の一泊二日は中学生夏のつどい。豊かな自然環境に恵まれた、高台にそびえる新しい中学校が舞台新設の水泳プールで、また幻想の世界にひたつた、かがり火のキャンプファイヤー。参加五〇〇人の胸の奥深く、この

あーもったいない
時効の貯金が十二億

郵便貯金は、十年間利用しない権利を失うことになっている。

そこで郵政省では、十年間利用されていない貯金通帳の持主へ、このままにしておくとか、通知書が届いても、貯金残高が少くないので、郵便局まで行くのはむだだと思つてこんな、大きな金額になつたわけである。

しかし、そのまま利用されずに権利が消滅した貯金が、四十五年度一年間に、なんと十二億四千七百万円もあつた。このような、受けとり手のない貯金は、郵便貯金法によ

老方小学校歌を募集

十月二十日に締め切り

老方小学校校長あて、郵送してください。老方小学校校歌として格調の高い歌詞であること。子どもたちが、意味を理解できるよう、平易であること。口語体で二番までとし、一節と二節の文章は、大体ア・ク・セ・ン・トが同じになるように。締め切りは十月二十日まで

九月は台風月

九月一日は立春から数えて

二十日にあたり、昔から農家にとって、台風の日としておそれられ、警戒されている。しかし近年、大きな災害をもたらす台風は、二十日の九月初めより、むしろ九月中旬の十六日ごろ、下旬の二十六日ごろに多く来襲している。一例では、十六日に第二室戸台風、二十六日には洞爺丸・狩野川・伊勢湾台風などがあつた。

ことしは、九月に一個くらいが接近または上陸するものもあり、台風が日本へ近づくとつれて、飛行機、船舶、レジャーなど新しい観測資料によって台風情報が発表される。



ドロク一掃旬間
九月下旬に展開

秋の稲刈りどき、春の田植

涼し気なすすき野に熱気
太鼓たたいて自軍に声援



八月二十二、二十三日の第一三回社会人野球大会には一六チームが出場、日ごろ練習

十二年、四十四年に続いて三度目の飛び石優勝をとげた。

最高殊勲選手 加藤清一。最優秀投手 小野泰宣。首位打者 佐藤辰雄(以上老方クラブ)。敢闘選手 小野泰雄(農協)。本塁打賞 太田栄悦(新町)。小野健治(郵便局)。

村政への提言を
電話で受付け

村政は村民一人一人のものではない。主権在民の社会では、これは当然のことである。そこで村報ではかつて、「議席二三番」の欄をもうけ、村民の声を紙面にと企画したものだ。しかし寄稿者が続かず、企画だおれに泣いていた。

食品業者の検診

食品取扱業者の秋の健康診断(検便)が、つぎの日程で行なわれるので、洩れなく受診するよう望まれる。

本荘高校同窓会

第六四回の本荘高校同窓会総会が開かれます。

消費税、年に五百五十万

消費税が村に入ったかという、553万3千円です。これはみなさんが、村内のたばこを

消費税が村に入ったかという、553万3千円です。これはみなさんが、村内のたばこを

消費税が村に入ったかという、553万3千円です。これはみなさんが、村内のたばこを

消費税が村に入ったかという、553万3千円です。これはみなさんが、村内のたばこを

消費税、年に五百五十万

消費税が村に入ったかという、553万3千円です。これはみなさんが、村内のたばこを

消費税が村に入ったかという、553万3千円です。これはみなさんが、村内のたばこを

消費税が村に入ったかという、553万3千円です。これはみなさんが、村内のたばこを

消費税が村に入ったかという、553万3千円です。これはみなさんが、村内のたばこを